



## 初秋の乳牛飼養管理と草地管理について

### □乳牛の飼養管理

今年の夏は気温が平年よりかなり高く推移しました。すでに暑熱ストレスの影響が出ています。良好な飼養環境を保つとともに、乳牛を十分観察しましょう。

### ○サルモネラ症の予防

サルモネラ症は、暑熱による免疫力の低下によって発症することもあります。以下の対策を行いましょう。

- ★農場にサルモネラを持ち込まないことが肝心です。
  - ✓ 農場敷地や畜舎への入口に消毒帯や踏み込み槽を設置する。
  - ✓ 防鳥ネットなどにより、鳥獣侵入防止対策を徹底する。
- ★農場内でサルモネラを増やさない環境をつくりましょう。
  - ✓ 飼槽や給水施設など牛の口が届く場所を衛生的に保つ。
  - ✓ 適切な栄養管理や採食量を高める管理を行い、乳牛の免疫力低下を防止する。

### □秋の草地管理について

秋の草地管理は、翌年の牧草収量や植生に影響する大事な作業です。

### ○家畜糞尿の施用

家畜糞尿の秋散布は、有効茎数を増やす効果が期待できます。

- ✓ 維持草地への施用量（目安）は、堆肥は2t/10a、スラリーは2～3t/10a。
- ✓ 最終番草収穫後速やかに行いましょう。

### ○石灰資材の施用

草地の適正なpHは5.5～6.5とされています。

より健全な草地維持のためには、pH6.0以上を保ちましょう。

- ✓ 散布量の目安は、タンカル換算で毎年30～50kg/10a
- ✓ 最終番草刈り取り後に散布する。

土壌pHと肥料の吸収



### □今年産の粗飼料給与開始に向けて

今年収穫した粗飼料を給与する際は、粗飼料分析を行い、分析結果に合わせた飼料給与を行いましょう。

また、収穫量から給与計画を立てましよう。

情報満載の  
ホームページ  
QRコードからGO!

